

# 生きのびて

## 生命を詫びて

### 戦友の

# 御霊に祈る

## 終戦記念日

### 山本太幸



山本太幸さん（土佐山田町入野）

昭和20年2月に召集され、満州国牡丹江省下城子へ渡る。終戦時、ソ連軍の捕虜となり、ハバロフスクの北東約300kmの峠ムリ地区の収容所などに抑留され、昭和24年7月に帰還。88歳。

**終戦時に4年間、シベリア抑留を経験した山本さんにお話を伺いました。**

### 収容所への道のり

昭和20年8月9日、満州へソ連軍が突如攻め込んできました。捕虜となつてからは、ソ連領へ何日も何日も歩いて入りました。途中で開拓団をはじめ日本人に遭いました。女性は頭を丸刈りにし、顔を極端に汚して男装していましたが、誰もが道端で泣いていました。満州にもシベリアにも、

### 零下40度、悲惨な食事 思想教育が行われた

収容所は3カ所を回りまわした。移動の際には、銃制を恐るため、ソ連兵に「ト

### 次々と亡くなる戦友 ふんどしまではぎ取られ

このような食生活の上には仕事にはノルマがありました。酷寒の中ですから、極限状態にありました。栄養失調と過労、アミーバー赤痢、発疹チフスなどで、次々と戦友たちが亡くなりました。私たちの収容所では遺体の埋葬について日本人は関与しませんでしたが、遺体はふんどしまではぎ取られ、15、16体が重ねられて置かれ、やがて馬ソリで運ばれて行きました。

### 命の恩人、極限状態で の慈愛の振る舞い

昭和20年12月、私は黄痘を患い、収容所で寝ていました。そのとき同年兵が、それまで隠し持っていた白米3合を全て私のために、お粥を炊いて1週間食べさせてくれました。衰弱した体で作業から帰り、このよ

うな食事環境の中で、自分は一粒も食べないで。その後私は1カ月入院して、回復しました。自分の命が極限状態にあるとき、この優しい慈愛の振る舞いは、誰



両袖のない防寒着。あまりの空腹に、片袖ずつロシア人労働者の持っていたパンと取り換えた。当時はソ連人も極貧の極みだった。

にでもできることではありません。その間は、神様を拜む思いで、涙を流しながら手を合わせました。この方とは、引き揚げてからも消息を尋ね、家族ぐるみの交際を続けていました。忘れることのできない命の恩人です。

### 生き残った戦友は4割 生き先輩に恵まれた

昭和24年7月、私は帰還しました。千人いた収容所の戦友のうち、生還したのは40人でした。私は苦勞の多い初年兵でしたが、良き先輩に恵まれたおかげで帰ってこれました。身代わりになつてくれた方も多くいます。舞鶴港に着いたときは「この方を知りませんか」というようなのぼり旗

などが見られ、泣きながら歓迎してもらいました。うれしい反面、頭の中に共產主義が少し残っており、ちよつと複雑でした。

故郷に帰って2週間くらいして、県庁前にいたアメリカ進駐軍の尋問を受けました。丸裸にされて写真を

おり、気温は零下30度。零下40度に下がることもあり

夜は昼間の過酷な作業で衰弱し切っていました。1時間以上、共産主義の思想教育がありました。「私

営が幸せである。天皇制の打倒。資本主義はダメ。共産主義がやがて世界を制する」というようなものです。

食事は、大豆・高粱・粟・稗・エンドウなどで、ひどいのは大豆から油を抜いたカスを粉にしたもので、これを食べると糞づまりに

撮られ、指紋・血液も採られました。抑留収容所の地図があり、「どの収容所にどのくらいいた？どんな環境だった？つらかったか？」と聞かれました。

自宅に帰ってからも3年間で5、6回警察官が様子を見に来ていました。

た戦友も少なくなりました。若者のじゃまにならないように余生を過ごしたいと思

います。ただ、戦争はせられん。あんなバカげたことはない。戦時中は日本人も中国や韓国で想像を絶する

ような酷いことをやってきた。約束を守り、相手に対する務めを果たすという意味の信義という言葉があります。世界中の人がこの言葉の意味を理解し、実践していけば世界に平和が訪れるのではないのでしょうか。



▲手製の靴下

## 香美市の 平和活動

### 非核・平和宣言都市

香美市は、核兵器の廃絶と平和を願う全ての人々と相携えて行動することを決意し、平成18年5月25日、『非核・平和都市』宣言を行い、『日本非核宣言自治体協議会』に加入しました。

非核宣言自治体が世界に広がっていく契機となった最初の非核宣言は、1980年にイギリスのマンチエスター市で行われました。マンチエスター市は、米ソ冷戦のさなか、核兵器の脅威をなくすため、非核兵器地帯であると宣言し、他の自治体にも同じような宣言をするように求めました。

### 平和市長会議への加盟

香美市は、平成22年1月1日に、『核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画』に賛同する世界各国の都市で構成されている平和市長会議に加盟しています。

### 香美市戦没者追悼式

市では、毎年、香美市の戦没者の追悼式を行っています。今年は5月17日に、中央公民館で行われ、遺族ら約130人が参列しました。式では戦没者に黙とうをささげ、参列者が献花を行いました。遺族らは、めい福を祈るとともに、改めて平和への願いをこめて、祭壇に向かつて手を合わせていました。



### 黙とうをささげよう

広島市原爆投下時刻 8月6日午前8時15分  
長崎市原爆投下時刻 8月9日午前11時2分  
終戦記念日 8月15日正午